



ザ・リバティ 2017年1月号

# なぜ真珠湾に行って靖国参拝に行かないのか

安倍晋三首相は12月、日本でプーチン露大統領と首脳会談、米ハワイの真珠湾でオバマ米大統領と慰霊を行う。だが、行き当たりばったりの理念なき外交は、他国に足元を見られるだけだ。



安倍首相は2013年12月以来、靖国神社を参拝していない。 Frederic Legrand-COME0/Shutterstock.com

安倍晋三首相は12月15、16両日、山口県内と東京都内で、ロシアのプーチン大統領と首脳会談を行う。

日本がロシアとの関係を強化する最大の目的は、中国のアジアへの侵略を封じ込めるためだ。

だが、日露双方の思惑は微妙にずれている。日本は、北方領土問題を解決した上で平和条約を結びたい。一方ロシアは、領土問題の解決より、まず平和条約を結んで経

済協力を進めたい。この会談の地下づくりのため、岸田文雄外相は4日、モスクワを訪れてラブロフ外相と会談。しかし冒頭の握手もない冷え切ったもので、溝を埋められなかった。

### 北方二島を逃したのは誰か

2014年、ロシアがクリミア半島を併合した際、欧米はロシアに経済制裁を行い、日本も同調した。困ったロシアは中国との関係を強

さらに安倍首相は12月26、27両日に米ハワイを訪問して、オバマ米大統領とともに真珠湾で、日本の攻撃で命を落とした犠牲者を慰霊する。

政権側は「訪問は戦没者の慰霊のためであって、謝罪のためではない」と説明する。発表翌日の大手紙は「戦

### 「ご機嫌取り」外交

「北方四島をいったん、棚に上げて私も平和条約を結ぶべきだと考えています。(中略)ロシア、アメリカとの関係を強化することが、次の対中国戦略になります」

そして、日本が取るべき戦略についてこう続けた。

「北方四島をいったん、棚に上げて私も平和条約を結ぶべきだと考えています。(中略)ロシア、アメリカとの関係を強化することが、次の対中国戦略になります」

化して生き残りを図った。

この点について大川隆法・幸福の科学総裁は、当時から、多くのロシア人が住んでいたクリミアの併合は、自国民保護の意味合いが強く一定の正当性があると指摘。12月7日、千葉・幕張メッセで行った講演会「真理への道」でも、こう話した。

「(ロシアに)一定の正当性があるというのを認めていたならば、少なくとも北方四島のうち、二島は今年返ってきています。これを逃したのは、現在の外務省と安倍政権です。この見通しのなさについては、十分に反省していただきたい」

マスコミの支持を集め、国民の支持につなげ、世界の首脳のご機嫌を取るだけの「理念なき政治」は国を危うくする。大国のトップならば、世界のリーダーとして、日本と世界を平和と繁栄へと導く国家戦略を示すべきだ。

今年5月、オバマ氏が現職大統領として初めて原爆の被爆地である広島を訪れ、慰霊した。首相はその返礼のつもりかもしれない。

しかし、両首脳の内政の試みも、「原爆投下」「真珠湾攻撃」は善か悪かという価値判断から逃げたまま、人気取りに走っている感が拭えない。

後「終わらせる試み」(産経新聞)、「米も歓迎」(和解の力示す) (朝日新聞)と保守もリベラルも一様に賛意を示していた。

だが、この問題に対しても、大川総裁は前出の講演会で、こう苦言を呈した。

「先の大戦で死んだ日本人は300万人。死んだアメリカ人は30万人。日本人は10倍死んでいます。これは知っておいてほしい。首相官邸から、わずか数分の靖国神社に祀られている約250万人の英霊に慰霊することができないで、ハワイに慰霊に行ける首相とは、いったい何者であるのか!」

TheLibertyWeb  
True insight into world affairs  
日々のニュースへの新たな見方を提供する記事を配信中。

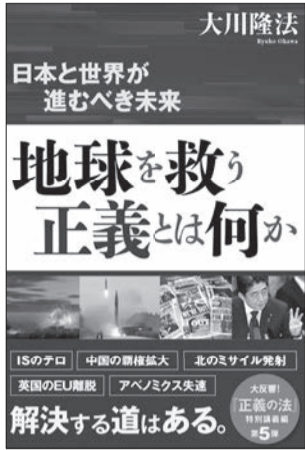
ザ・リバティ 検索

### 大川隆法総裁法話インフォメーション

日本と世界の諸問題について指針を示す・2016年 エル・カンターレ祭 法話「真理への道」  
・法話「政治の論点について」

映像は、全国の幸福の科学の精舎・支部・拠点で映像でご覧いただけます。ご関心のある方は、本号外を配布している者にお気軽にお声掛けください。お近くの支部はこちらから検索→ <http://map.happy-science.jp/>

# 大川隆法総裁の著書



中国の覇権拡大、  
英国のEU離脱、アベノミクス失速。  
先の読めない国際問題と  
八方ふさがりの日本の危機——  
すべてを解決する道はある。

## 地球を救う正義とは何か

日本と世界が進むべき未来  
大川隆法 著  
1,620円(税込) 発行/幸福の科学出版



トランプ新大統領が「正しい選択」である  
これだけの理由。  
「トランプ勝利」を2016年1月から  
見抜いていた著者が、  
新大統領誕生の翌日に最新メッセージ!

## トランプ新大統領で世界はこう動く

大川隆法 著  
1,620円(税込) 発行/幸福の科学出版

## 月刊「ザ・リバティ」最新1月号

全国書店にて発売中



特集

## 俺たち実は、「親日」暴君

2017年 日本のチャンス

トランプ大統領が「正しい選択」である理由 /  
ドゥテルテはどこへ行く? / プーチンの「世界物流革命」

大川隆法総裁  
未来への羅針盤  
家族の難病への  
向き合い方



The Liberty Web  
True insight into world affairs

本誌ウェブ版では最新ニュースを毎日配信中(一部有料)。  
本誌バックナンバーもご覧になれます。

the-liberty.com ザ・リバティ 検索